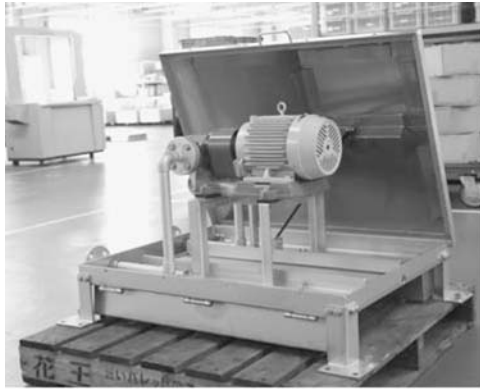


# ポンプなど水没防ぐ

## 自家発電機向け 昭和機器が装置



【福岡】昭和機器工業(福岡市博多区、前芝31・5131)は、自家発電装置

などのポンプやモーターの水没を防ぐ「ポンプやモーターの防水装置」を開発した。洪水や津波などで冠水した際、内部の水位が上昇するスリットを抑える。既に国や自治体の施設に設置しており、今後は民間への普及を進める。同シエルターは、モーターやポンプをすい台状のカバーで覆うものの、容器を逆さにして水に沈めても空気層が確保される現象を応用した。また、冠水時に浮力を利用して密閉に近い状態をつくる機構を底部の一部に設ける。気圧と水圧の大きな差によるカバーの破損を避けるため、密閉状態にせず、少しずつ水が流れ込む仕組みを採用した。通常時でも通気を保ち、内部での空気の滞留を防ぐ。標準仕様のシエルター(幅1100mm×奥行き860mm×高さ700mm)は、5分冠水時のカバー内部の水位上昇を約15分以内に抑える。設置スペースのほかポンプや制御盤などの機器類に対応した設計も行う。

昭和機器工業は液晶計など計測機器のメーカー。ポンプやエアシエルターに関する技術は2014年に国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている。